

おひさま ニュース

2022

春 号

4月15日発行



ホームページ

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

22世紀

院長 福内正義



22世紀まであと何年だろうか？元旦に2022年という文字を見てふと考えました。22世紀は2101年からなので79年後からが22世紀です。

2020年に発表された日本人の平均寿命は男性が81.6歳、女性が87.7歳で過去最高を更新しています。2001年から比較しても、20年ほどで男女ともに約3年延びたことになります。統計では、平均寿命までの生存率は男女とも6割以上で、これから生まれて来る子供の多くは22世紀を迎えることになります。

最近いろいろなところでSDGsという言葉を目にする機会が増えました。持続可能な開発目標の英語の頭文字からできた造語で、2015年の国連サミットで採択されています。2030年までに世界を持続可能でよりよいものにすることが大きな目標であり、17の目標と619のターゲットから構成されています。目標の1番目に“貧困をなくそう”が掲げられています。当院では、以前から無料低額診療として、医療費の負担が大きい生活困窮者への医療提供をおこなっています。3番目の“すべての人に健康と福祉を”や、それ以外にもすでに取り組んでいるものがあります。

当院を運営する社会福祉法人太陽会まで広げれば、SDGsの多くの目標達成を目指して様々な取り組みをしています。

一方、今年の2月からロシアの侵攻を受けたウクライナでは、幼い命が犠牲になっていると連日報道されています。ウクライナ人の平均寿命は日本人より短いようですが(男性68.0歳、女性77.8歳／2019年)、それでも22世紀を迎えることができたであろう多くの子供の命が砲撃等によって奪われています。これはとても悲しむべき事態です。

22世紀といえば、国民的アニメ「ドラえもん」の誕生日です。1970年から漫画の連載が始まり、アニメは今までに55カ国で放映され多くの国で愛されています。今から90年後の2112年9月3日、トーキョーマツシバロボット工場でドラえもんは誕生します。今後生まれて来る子供たちの多くがドラえもんの誕生日をリアルタイムで祝福できるのかと思うと、少しうらやましく感じます。

22世紀に向けてSDGsのような目の前の目標からでも改善して行くことが重要かと思います。人が人の命を奪うような戦争という行為はSDGsとは正反対であり、国ごとの事情があるとしても、とても許されるものではありません。ドラえもんの世界に出て来るような、明るく平和な22世紀が来ることを、心より望んでいます。



診療科のご紹介

内科系				外科系			その他系
総合診療科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	腫瘍内科	甲状腺外来	外科	婦人科	脳血管内治療科	救急科
呼吸器内科	膠原病内科	脳神経内科	健診外来	肛門科	乳腺外科		透析科
消化器内科	小児科	胸部精検		整形外科	スポーツ整形		麻酔科
循環器内科	腎臓内科	糖尿病甲状腺内分泌内科		泌尿器科	皮膚科		リハビリテーション

小児科

当院小児科では、月曜日から土曜日（木・土曜日は午前中のみ）まで小児科専門医による診療を行っています。風邪や胃腸炎といった身



近な病気や健診、予防接種はもちろん、点滴や血液・画像検査、入院治療が可能な当院の強みを生かして頭痛、慢性疾患、医療ケアを必要とする子どもの診療を行っています。地域のかかりつけ医として、子どもに関する相談なら何でも承ります。

当院小児科の特徴として、アレルギー診療と発達相談があります。子どもの食物アレルギーの多くは成長すると食べられるようになります。また、アレルギーがあっても食べられる範囲で食べ続けた方が早くアレルギーが治ることも分かってきました。当院では「アレルギーがあるのか」「どれくらいなら食べられるのか」を確認するためのアレルギー負荷試験を行っています。また、スギ花粉症

に対する舌下免疫療法も実施しています。

発達相談は、発達の遅れや発達障害（自閉症スペクトラム症や注意欠如多動症：ADHD）の子育てを支援する外来です。こうしたお子さんは、早期に環境調整や薬物治療を行うと友達関係や学習成績が改善し、成人後の精神疾患が減ることが分かっています。学校や地域資源とも連携して診療します。お気軽にご相談ください。

コロナのパンデミック以降はオンライン診療も行っています。外来は予約制ですが、当日受診も受け付けています。まずは電話予約をお願いいたします。（予約☎0470-25-5121）

医療従事者向け書籍の紹介

外来で診る 子どもの発達障害
～どこまで どのように診るか～



2021年8月出版
羊土社



いちかわ しげき
市河茂樹

出身地：山口県

趣味：ダイエットとリバウンド

房総の好きなところ：

人も気候もおおらかで優しい



画像検査つれづれ③

～骨密度測定って

何を調べるの？～



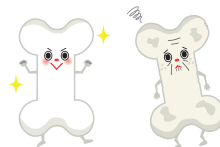
画像診断室 室長 鈴木一志

こつしょうしょう
骨粗鬆症は、骨が弱くなることで骨折しやすくなる病気で、骨の密度と質が関係します。骨の密度を測る検査が骨密度測定です。

測り方はいろいろありますが、当院では異なる2種のX線を照射し透過量を測るDEXA（デキサ）法という一般的な方法で測定しています。全身どの骨でも測定可能ですが、骨折で生活に支障を

来すことの多い腰椎と大腿骨頸部での測定が標準とされています。住民検診では検査の簡易さから前腕で測定してい

ます。骨密度は、年齢や体質、生活習慣で低下し、なかでも女性はホルモンの変化を伴う出産や閉経などで低下することが多いとされています。あまり症状がなく、気づかないうちに骨折しやすくなっています。自分の骨の強さを知れば早めに生活習慣の改善や治療薬で対策することができます。特に女性は40歳を過ぎたら一度は測定することをお勧めいたします。



部署紹介 診療部事務室

診療部事務室 室長 戸倉洋子

医療機関によって違いはありますが、当院には医師(診療部)に関わる事務業務を担当する



「診療部事務室」という部署があります。どんな仕事をしているのか紹介いたします。

1事務業務 医師の勤務表や外来担当医表の作成、書類の作成・管理、給与試算や手当の申請に加え、スケジュール調整などの秘書的業務も行っています。診療に関することから住宅のことまで公私にわたる相談やお手伝いをしています。

2アシスタント業務 アシスタントとは、医師事務作業補助者の資格を持ち、事務的な業務を行う職員です。診察室に同行し、カルテの記載や検査オーダー等の入力代行、診断書作成、学会提出書類の作成などを医師指示のもと行っています。これらは、医師が一人でも多くの患者さまを診察するための大切な補助業務です。

3クラーク業務 クラークは、病棟、外来、救急、透析室、手術室に配置しています。入退院関連の書類の作成、メッセージ業務のほか、患者さまやご家族さまへの対応などを行っていて、笑顔で明るい声掛けを心がけています。

4外来予約業務 2022年1月より、医事課から診療部事務室へ所属がかわりました。外来各科の予約電話を4名の職員が担当しています。特に午前中は電話が鳴りやまないほど対応に追われています。顔が見えない分少しでも不快感を与えない電話対応を心がけています。

5地域連携業務 安房地域の医療機関から救急への紹介電話の取り次ぎや、紹介元の医療機関への返信の発送と管理、他医療機関からの転入院の受入れ支援などの業務を行っています。紹介患者さまがスムーズに当院で治療ができるように、また地域の先生方から紹介したい病院に選んでいただけるように努めています。

当室職員は担当業務や配置場所は様々ですが、思いは一つ!「チーム医療」の一員として貢献できるよう努力して行きます。

2022年度の検診日程について

特定健診

	実施期間	
館山市	5月10日～6月15日	27日間
鴨川市	6月16日～7月4日	15日間
南房総市	8月16日～10月5日	25日間
鋸南町	10月12日～10月18日	6日間

乳がん検診

	実施期間	
館山市	6月1日～2023年1月31日	
鴨川市	6月1日～2023年1月31日	
南房総市	6月1日～2023年1月31日	
鋸南町	5月18日～2023年1月31日	

子宮がん検診

	実施期間	
館山市	6月1日～2023年2月28日	
鴨川市	6月1日～2023年2月28日	
南房総市	6月1日～2023年2月28日	
鋸南町	6月1日～2023年2月28日	

5月より、病気の予防、早期発見、早期治療を目的として、感染予防対策を施しつつ、地域住民のみなさまを対象に、住民(集団)検診を実施いたします。

また、各種がん検診につきましても下記日程にて実施を予定していますので、詳細な日程、お申込み等につきましては、お住まいの行政機関へお問合せ下さい。



大腸がん検診

	実施期間	
館山市	10月17日～10月27日	8日間
鴨川市	11月7日～11月24日	7日間
南房総市	6月6日～7月7日	15日間
鋸南町	7月12日～7月28日	4日間

骨粗鬆症検診

	実施期間	
館山市	7月20日～7月22日	
鴨川市	7月12日～7月14日	
南房総市	10月20日～10月25日	
鋸南町	7月7日	



研修医入職式



4月5日(火)
研修医の入職式が行われました。今年度は初期研修医3名と後期研修

医2名が入職しました。亀田信介理事長や福内正義院長、各部門の役職者が出席し、挨拶や辞令の交付が行われました。

当院は、亀田総合病院の臨床研修病院になっています。5名の医師は、当院をはじめ亀田総合病院や亀田ファミリークリニック館山などで研修をします。患者さまやご家族さまの温かいご指導・ご協力をお願いいたします。



千倉中学校 スポーツ 傷害防止教室

1月14日(金)に、千倉中学校1・2年生約140名と保護者を対象に、成長期のスポーツ傷害とその予防方法について、当院スポーツ整形高澤修三医師とリハビリテーション室松澤啓之理学療法士が講演を行いました。成長期の身体やスポーツ傷害(けが)の特徴に関する講義に加えて、ストレッチング方法に負担の少ない動作や姿勢の実技も交えた内容の濃い1時間半でしたが、中学生のみなさんは終始意欲的に参加していました。地域で生活する方々の傷害予防やその環境づくりの一助となれるよう、今後も活動を継続していきます。

寄贈の紹介



「ウォーリーをさがせ」や「アンパンマン」などの児童書や絵本、幼児教育専門書の出版で知られる株式会社フレーベル館さまから、30種類63冊の絵本を寄贈いただきました。当院小児科待合室や隣接する保育所でお子さまやご家族さまによろこばれています。

また、当院の車椅子の一部は、永年に渡り館山市内の有限会社三平商会さまからご寄贈いた



だいたもので、昨年も届けて下さいました。

ご関係のみなさまのご厚意に感謝し、深く御礼申し上げます。

3月21日 保育所卒所式



たくさんの拍手で迎えられ、はにかんだ笑顔で入場してきたのは5名の主役たちです。名前が呼ばれ、「はい!」と大きな声で返事をして卒所証書を受け取る姿は、すっかりおにいさんとおねえさんです。その後は「劇・保育所の1日」のはじまりはじまり。お当番や体操、カレーライス作りを劇で披露し、「卒所の歌」も今までで一番上手にうたえました。大好きなお母さんにプレゼントを渡して、ママにグーっとうれしめられてうれしそうな子どもたち! 涙と笑顔でいっぱい素敵な卒所式になりました。

編集 後記



おひさまニュース
バックナンバー

お世話になっている方が古稀を迎えました。人生100年時代にうつりつつあるなか、70歳を迎えてもまだまだ現役で仕事をされています。国内外をとびまわり、パワフルに毎日を過ごされている大先輩に元気をもらっています。会う

度に、次々と展開していくチャレンジの話は尽きることがなく、コロナ禍でも今できることに邁進されています。新たな一歩をふみ出した多くのみなさんのチャレンジや頑張りも、きっと誰かを元気にすることでしょう。



じゅんべりい